

2021年3月21日第3主日

Chofu Christ Church

礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈禱		
賛美	新聖歌 112	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	

聖書 Iサムエル9 : 15-21 (p393)
説教 「行くべき道を教える神」
園 謙慈 牧師

一斉祈禱		
献金	新聖歌 316	
感謝祈禱		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝禱		起立
後奏		起立

報告

●来週のメッセージ

- 【聖書】 Iサムエル10 : 9-21 (p395)
- 【主題】 「あなたも変身できる」
- 【説教】 園 謙慈 牧師
- 【新聖歌】 120 258

今週の聖句

《行くべき道を教える神》
「神の人に……われわれの道を
示してもらいましょう。」

Iサムエル9章8節

- 本日の礼拝後の予定
○
- 今週の予定
◎聖書通読 22日(月) - 28日(日)
Iサムエル6-12章

※教区女性教職会[Zoomにて]14:00

- 武道宅 24日(水) 14:30
- 祈禱会 25日(木) 休会

- 3/28日(日)の予定
○主日祈禱 10:00 賛美タイム 一
- 棕櫚の主日礼拝式 11:00
- 役員会 礼拝後
- 3月会計決算 財務部

礼拝式説教要約 【ヒーローは必要か?】 サムエル記上8:10~22

サムエルのリタイアの時期が近づいた。彼の後継者の息子たちは汚職にまみれていた。このままでは、外国から攻撃を受けても防衛できず、安定した生活は送れないと人々は考えた。現実に圧倒されると、目に見えない神に信頼するより、目に見える力や組織に寄り掛かろうとするのが人間の常である。それで、他国を真似して王国を樹立し軍隊を作り、生活と命を守ってもらおうとイスラエルの民は考えた。サムエルは民の意見を聞き主の導きを求めた。主の結論は、「民の声を聞きいれよ」であった。これは、民を行くがままに任せ、種をまけば必ず刈り取ることを体験させよ、という趣旨である。

王制とは何かをサムエルは民に説明し、王に従うことが過酷かを警告した。王政の本質は人々から収奪すること…「取る」の言葉が4回も繰り返される。申命記17:14~20には、王の義務が書かれている。王は高慢にならず、神にそむかず、自分のために武力も妻も金銀も増やすなという命令がある。サムエルは、蒔いた種は必ず刈り取ると警告した。民は王制を理想化し、公正さと犠牲心を持つ者としての王を期待した。この後のイスラエル(ユダヤ)の王の歴史を見れば、王政の現実がどんなに悲惨であるかが分かる。数%の富裕層が世界を支

配している現代と構図はそう変わらない。前章で言われているように、主に立ち帰り、主に心向け、主に仕え、隣人を愛していくことが人間本来の生き方であり、幸せの根源なのである。

あなたは周囲の誰かのマネをして、平均的な人間になることを求めているまいか。イスラエルの人々は、「他のすべての国民のように、私たちにさばく王を立ててください」と願った。真の神を知らない異国の人々のまねをして、神への信頼を忘れてしまった。

◎国の主権をあずかる王や指導者…人間のヒーローなどに頼るのではなく、力ある神こそ信頼しよう。武力や国力ではなく、神の愛と守りに目を留めよう。周りの人々と同じで、平均的生き方にごまかされず、ユニークで自分らしい生き方を求めよう。現実的な問題に直面した時こそ、昔も今も生きて働いておられる神に心底から頼っていいのではないかと。